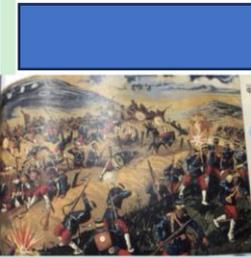


リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹波町立和知小学校（京都府）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力 情報の整理・分析



○日清、日露戦争はどういうものだったのか

欧米諸国の植民地になることを恐れた日本は、富国強兵などの政策を進めてきました。やがて朝鮮への進出を巡って中国「清」とロシアと対立するようになり戦争が起きました。

そしてこの戦争では東郷平八郎などの活躍もあり戦争に勝利しました。その結果樺太「サハリン」の南部と満州の鉄道などを得て韓国を日本の勢力に置くことをロシアに認めさせました。

○戦争に勝利したことで与えた世界への影響

この日本の勝利は欧米諸国に日本の力を認めさせ欧米の支配に苦しむアジアの国々を勇気づけました。一方で日本人の間では、朝鮮や中国の人々を下に見る態度が広がっていきました。

世界に歩み出した日本

③日清・日露戦争によって変わった日本と世界との関係を考えよう。

日清・日露戦争とはどのようなものだったのか。

戦争に勝利したことで世界に与えた影響はどのようなものだったのか。

それぞれまとめて

＊東郷平八郎・植民地・樺太（サハリン）とは。

日清・日露戦争とはどのようなものだったのか。

戦争に勝利したことで日本と世界との関係はどのようなものになったのか。

それぞれまとめて

日清戦争とはどのようなものだったのか。

日露戦争とはどのようなものだったのか。

それぞれまとめて

日清・日露戦争とはどのようなものだったのか。

戦争に勝利したことで世界に与えた影響はどのようなものだったのか。

それぞれまとめて

＊東郷平八郎・植民地・樺太（サハリン）とは。

「戦争の影響」
中国や、ロシアに対する日本の勝利は、欧米諸国に日本の力を認めさせ、欧米の支配に苦しむアジアの国々を勇気づけました。

「東郷平八郎について」
東郷平八郎は日本海での戦いで、ロシアの軍隊を打ち破りました。

「植民地」
国が、国を支配下に置くこと。

児童自らが「問い」をもつためには、まず学習内容を把握して、情報を得ることができなければならない。その1つとして、教科書を「読むこと」ができることに着目した。教科書に何が書いてあるのか・この図は何を示しているのかなど、1つ1つの情報を読み取ることから始めた。そして、学習支援ソフトを用いて、必要な情報を整理・分析したり、「問い」に対する考えを書いたりすることができるようになった。また、同じ教材であっても、まとめ方は児童1人1人によって違いが見られる。このように自分の「問い」に対する自分の「考え」を表現することができるようになった。